

愛西市生涯学習基本構想策定委員会会議録（概要）

会議名	第２回愛西市生涯学習基本構想策定委員会
開催日時	令和８年９月２９日（火） 午後２時から午後３時２０分まで
開催場所	文化会館 第２会議室
出席者	別紙のとおり
欠席者	浅野 静雄 委員、佐藤 良枝 委員、山崎 洋一郎 委員
協議事項	（１）生涯学習に関するアンケート調査結果について （２）基本構想について ・基本理念について ・指標について ・第３次生涯学習推進計画目次について （３）その他
公開／非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	０人
会議資料	次第 資料１ 第３次愛西市生涯学習推進計画 生涯学習に関するアンケート調査 調査報告書 資料２ 基本構想について 資料３ 第３次生涯学習推進計画 目次（案）
審議経過	別紙のとおり

委員名

		氏 名	備考
委員長	スポーツ協会会長	水谷 瀧男	
副委員長	婦人会会長	中村 文子	
	教育委員会教育長	河野 正輝	
	社会教育審議会会長	堀田 喜一郎	
	家庭教育推進連絡協議会会長	山田 良治	
	スポーツ推進委員代表	浅野 静雄	欠席
	図書館協議会代表	佐藤 良枝	欠席
	文化協会会長	妻野 仁身	
	保育協会代表	堀田 真吾	
	小学校長代表	山口 朋子	
	中学校長代表	山崎 洋一郎	欠席
	公募委員	渡部 洋	
	公募委員	ゲンチ 和泉	

事務局

役 職	氏 名
教育部長	佐藤 博之
生涯学習スポーツ課課長	日比 猛
生涯学習スポーツ課課長補佐	木村 純子
生涯学習スポーツ課課長補佐	富田 美紀子

審 議 経 過

発言者	内容（概要）
事務局	（開会のあいさつ） （欠席者、傍聴人の報告）
委員長	（委員長あいさつ）
事務局	ありがとうございました。 それでは、次の議題に移りたいと思います。 以後の進行につきましては、委員長にお願いいたします。
委員長	それでは、議題（１）『生涯学習に関するアンケート調査結果』について、事務局より説明をお願いします。
事務局	（生涯学習に関するアンケート調査結果について説明）
委員長	ただいま説明がありましたが、ご質問などありましたらお願いします。
委員	アンケートの回収率について、小学生、中学生などは高い回収率となっておりますが、一般は 35.8%となっております。これは、一般の方は関心がないということなのか、回収率としてはいかがなのでしょう。
事務局	回収率としましては、第１次生涯学習推進計画を策定した際の回収率は 31.6%、第２次の際は 34.1%であり、徐々に回収率は高くなっておりませんが、30%前半を推移しているという状況です。 今回からアンケートに答えやすいよう回収方法も郵送だけでなく、WEB での回答も取り入れております。
委員長	他のアンケート調査においても、概ね 30%ほどの回収率かと思います。 この回収率でアンケートの結果としては、市の意見としてまとめられるということですね。
事務局	３ページに標本誤差として記載させていただいておりますが、回収率からの回答結果については統計学上有効な調査であるといえます。
委員	アンケートをとる際に「生涯学習はこのようなことです」といった説明はあったのでしょうか。
事務局	資料１の 92 ページをご覧ください。 アンケートには『「生涯学習」ってなあに？』という生涯学習についての説明を記載しております。
委員長	子どもからお年寄りまで、みんなが学ぶことというのが生涯学習ということですね。 他に質問はございますか。 ないようですので、次に（２）基本構想について進みたいと思います。 こちらは、ひとつずつ進めてまいります。

事務局	まずは、基本理念について事務局から説明をお願いします。 (基本理念について説明)
委員長	それでは、説明をいただいたことに対して、何かご意見はございますか。
委員	基本理念は案が３点あげられていますが、ここから選ぶということでしょうか。 また基本施策も３点あげられていますが、これは３点ということでしょうか、ここから選ぶのでしょうか。
事務局	基本理念案については、皆様に修正や追加等のご意見をいただき、最終的にひとつにさせていただきます。 施策については、基本理念の実現に向けての施策をあげさせていただきました。こちらは一つにしぼる必要はありませんが、基本理念と同様に皆様のご意見をいただいて修正等を行っていこうと考えております。
委員長	基本理念は、これからこうしていこうというスローガン的な意味を持つものです。今回は第３次としてあらたに制定するということから、私としてはあげていただいた案の中で、案①または②が良いのではと思いました。 他にご意見はありますか。
委員	案③「生きがいがづくり・人づくり・まちづくり」は、すごくやわらかな雰囲気がするのですが、生涯学習という点では、「学び」というような言葉がしっくりすると思いました。
委員	「学び」というと学校教育が最初に思いうかびます。生涯学習であるので「主体的」「主体は自分」という意味が重要と思います。
委員	施策についてですが資料２別紙①において、「生涯学習の推進」「読書活動の推進」「スポーツ活動の推進」ということで分けられています。生涯学習の下に読書・スポーツがあるというならばわかるのですが、これだと生涯学習と読書・スポーツは別のものだというとらえ方にならないでしょうか。
事務局	生涯学習の中に読書・スポーツがあるという認識はしており、計画としては生涯学習推進計画として全体で一つの計画になります。 その中で、基本理念と基本施策についても全体的なものになります。 今回、子ども読書活動推進計画とスポーツ推進計画を統合するところから、それぞれの要素を残した施策の体系としております。
委員長	施策については、施策を増やすということも考えられますか。
事務局	はい。いただいたご意見を反映させて進めてまいります
委員長	さきほど、基本理念について「主体的」という言葉をあげていただきました。例えば「みずから」というような言葉をいれるなど良いのではと思いました。
事務局	主体的にということだと、案①の場合だと、先ほど委員長がおっしゃられたように、「みずから学び つながり 高め合い 豊かで健やかな未来へ」案②の場

	合ですと、「みずからの学びが 人を育て 人をつなぎ 豊かな明日をひらく」という表現は可能かと思います。
委員	生涯学習、社会教育は自分から学んで自分を向上させようという時に学ぶことであり、その学びが自分自身を助けるという意味があると思います。 つまり「自分自身から学ぶ」ということが、生涯学習だと思います。 自分を良くしよう、高めようと学んでいきたいということを実現できるようにしていくことが生涯学習事業であるべきだと思います。
委員長	他にご意見はありますか。 基本理念について、案①・②ということで、ある程度まとめておきたいと思いますが、いかがでしょうか。 それでは、みなさんのご意見を聞きたいと思います。 (多数決) それでは、案①をもとにして、いただいた意見を反映させるということでよろしいでしょうか。 ありがとうございます。 それでは、続けて事務局より体系・指標について説明をお願いします。
事務局	(体系・指標について説明)
委員長	今指標についてご説明ありました。 何かご質問ありませんか。
委員	資料2別紙②-1にてシティプロモーション課のホームページアクセス数・フォロワー数などがあげられていますが、図書館においても新刊紹介や小さな子供向けのコーナーなど、スポーツにおいてもイベントなどを SNS で発信することで、愛西市の生涯学習事業が市民に伝わるかと思います。 指標のこれだけにとどまらないと良いと思います。
事務局	いただいた意見を担当課と共有させていただき、今後の取組を進めてまいりたいと思います。
委員	中学生の体力が減少している状況で、地域も含めたスポーツの推進を考えなければならないと思いますが、そのあたりはどうでしょうか。
事務局	生涯学習スポーツ課として、スポーツに関わっていただく必要性は十分認識しており、スポーツ団体の育成をはじめ様々な取り組みをさせていただいている状況です。
委員長	スポーツの関係では、育成という観点で部活動指導員についても該当するのかなと思いました。 どの団体も高齢化が進んでおり、現状維持が精一杯で増やしていくというのは難しいかと思いますが、指標としては残す必要はあるかと思います。
委員	ヤングアダルト蔵書数という標記をされているが、これは特別な用語としてある

	のでしょうか。
事務局	ヤングアダルトとは、子どもと大人の間といった年齢層を指す言葉で、図書館では主に中学生から高校生を指しております。図書館によっては「ヤングアダルトコーナー」「ヤングアダルトサービス」といったように使用されています。表現につきましては、精査してまいりたいと思います。
委員	図書館では電子書籍サービスは行っているのでしょうか。
事務局	現在、愛西市の図書館においては電子書籍の提供は行っておりません。
委員	アンケート結果においても、若年層については電子書籍の利用があり、何かを調べるときにはインターネット・スマートフォン、本を読むこともお金がかかるサブスク等を利用しています。 そういうことであれば、図書館に行って人気の本・読みたい本を読みましょうという推奨をしてもらえればと感じました。
委員	計画の期間が令和9年から16年度とかなり長い期間ですので、近い未来を見据えた取り組みや指標があると良いかと思いました。
委員長	ありがとうございます。 他はよろしかったでしょうか。ないようですので、次に進みます。 それでは、事務局より目次（案）について説明をお願いします。
事務局	（第3次生涯学習推進計画 目次（案）について説明）
委員長	説明がありましたが、何かご質問ありませんか。
委員	「生涯学習」のとらえ方・使い分けについて、相対的なことと言っていると思うのですが、第4章では「生涯学習」は読書とスポーツ以外のことを言っているのだと思います。 本来は読書・スポーツ以外の「その他」となり、おなじ生涯学習という文言を使うことは違うのではないかと思います。
事務局	今回、子ども読書活動推進計画とスポーツ推進計画を統合するところから、それぞれの要素を残した施策の体系としたことから、目次についてもそれにあわせて表記をさせていただきました。
委員	「その他」というのもおかしい気がするので、選ぶ言葉がないということもわかりますが、やはりスポーツも読書も生涯学習であるかと思います。 また、第2章「4 現状における課題」が重要かと思しますので、その課題をしっかりと見つけていただきたいです。
委員	第4章にて、「2 読書活動の推進」においては「読書推進団体」、「3 スポーツ活動の推進」においては「スポーツ団体」となっております。「1 生涯学習の推進」においては「文化芸術団体」となっておりますので、「1 文化芸術の推進」としてもよいのかと考えました。生涯学習の中では文化芸術も重要なことかと考えます。

事務局	いただいたご意見の内容を検討して取り入れてまいりたいと思います。
委員長	生涯学習はとても幅広く学校教育、社会教育、家庭教育を始め、自ら学ぶことはすべてはいるということです。 生涯学習の丸の中に、読書やスポーツ、文化芸術などさまざまなものはいっており、中心となるのは文化的な活動・スポーツ的な活動というイメージです。 ですので、基本施策の中で生涯学習・読書・スポーツと分けられていると違和感があるということですね。 「生涯学習の推進」という言葉をうまく変えるとよいのかを含めて、今までの計画をただ合わせただけではなく、統括した計画にさせていただくことで新しくしたという意味がいけるのではないかと思います。
委員長	それでは他にないようですので、本日の議題については、これで終了とします。 続いて、「3 その他について」を事務局よりお願いします。
事務局	本日委員の皆様からいただいたご意見を反映させ、次回に向けた『パブリックコメント案』の作成を進めてまいります。 11月に庁内策定部会を開催する予定となっており、その終了後、本策定委員会を開催し、皆様に改めてご意見をいただきたいと思います。 次回会議につきましては、改めて委員のみなさまにご案内をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。 事務局からは以上です。事務局からは以上です。
委員長	それでは、以上で第2回愛西市生涯学習基本構想策定委員会を終了します。長時間にわたりご検討をいただき、ありがとうございました。